

立命館大学 食マネジメント学部生×アドベンチャーワールド 共同企画/
「ぱんだいふく」ワークショップ開催&「フラミンゴワッフル」販売

2025年4月5日(土)よりスタート



アドベンチャーワールドを運営する株式会社アワーズ（本社：大阪府松原市、代表取締役社長：山本雅史）と立命館大学（京都府京都市、学長：仲谷 善雄）は、相互に連携・協力を図ることにより、産学連携の相乗効果を発揮し、学術研究・教育、地域社会の発展及び人材育成への貢献を目的として、2023年12月に包括連携協定を締結しています。このたび、具体的な取り組みとして、2024年6月より立命館大学 食マネジメント学部生が参画し、パークでの販売を目指した商品開発を進めてきました。その成果として、2025年4月5日（土）・6日（日）の2日間限定で、親子向けワークショップ「パンダが大福に！？親子で楽しむもちもち『ぱんだいふく』作り」を開催します。学生も運営に参加し、実践的な学びの場としても展開します。

また、同日よりパーク内のパン工房にて、学生と共同開発した「フラミンゴワッフル」の販売を開始いたします。学生の斬新な視点を取り入れたフードコンテンツを通じ、新たな食の楽しみを提供します。ぜひ、学生のアイデアが形になった特別なイベントをお楽しみください。

※報道関係者の皆様へ

ワークショップの様子をご取材いただけます。取材をご希望の場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

「パンダが大福に！？親子で楽しむもちもち『ぱんだいふく』作り」について

開催日程：2025年4月5日（土）・6日（日） 2日間限定開催

開催時間：①正午～ ②午後1時30分～ ③午後3時00分～

所要時間：各回60分

開催場所：エントランスドーム内 特設ブース

料 金：1,600円（税込）/組

※1組につき2つの大福を作ってください

参加方法：[Terravie](#)にて事前予約

2025年4月1日（火）午後3時00分より販売開始

定 員：12組/回

推奨年齢：未就学児～小学生のお子さま

※未就学児のお子さまは保護者の同伴が必要です。

※大人の方のみでのご参加も可能です。



内 容：

★オリジナルバンダナ作り

ブランドイラストの動物スタンプを使用して、自分だけのオリジナルバンダナを制作します。

バンダナを付けてだいふく作りへの気合十分！

※バンダナはノベルティとしてそのままお持ち帰りいただけます。

★パンダをモチーフにいただいた「ぱんだいふく」制作

学生のレクチャーを受けながら、親子で「ぱんだいふく」作りに挑戦します。

材料には和歌山県産のいちごとみかんを使用します。

★完成した「ぱんだいふく」をいただきます！

自分だけのオリジナル「ぱんだいふく」をおいしくいただきます。

「フラミンゴワッフル」販売について

甘酸っぱいいちごチョコレートを贅沢に使用したワッフルにザクザク食感のクランチをトッピング！

仲良しグループで群れを作るフラミンゴがモチーフです。

2羽が向かい合えば「ハート型」になるオリジナルケースが写真映え間違いなしです。

商品名：フラミンゴワッフル

販売期間：2025年4月5日（土）～5月31日（土）

販売店舗：パン工房

販売価格：700円（税込）／個



■これまでのプロセス

2024年

6月：立命館大学食マネジメント学部とアドベンチャーワールドによる共同商品開発プロジェクトが開始
パークにてキックオフとなるフィールドワークを実施

7月：フードメニュー企画チームとギフト商品企画チームの2チームに分かれ、アイデア創出のブレイン
ストーミングを実施
オンライン打ち合わせにて学生より商品案のご提案

8月：パークスタッフからのフィードバックをもとに商品案をブラッシュアップ

9月：学生による試作を実施

10月：試作時に見つかった課題を両者で意見交換

12月：パークにて共同で試作を実施

試食会にて商品が完成

2025年

1月：販売に向けた準備を進行

ワークショップに向けて、実際の販売環境やターゲット層を分析し、準備を進行

試作品の改良、フィードバックを受けながらブラッシュアップ

■学生のコメント

「ぱんだいふく」ワークショップについて

ご家族での思い出作りのお手伝いできればと思い、ぱんだいふくワークショップを企画しました。

お子さまが大福作りを通して「できた！」という喜びを感じ、家族の大切な思い出となることを願っています。

このワークショップの注目ポイントは、大福にパンダのイラストを描く工程です。

それぞれの個性が光る、世界に一つだけの大福作りを多くの方に楽しんでいただけたら嬉しいです。

「フラミンゴワッフル」について

アドベンチャーワールドの多様な魅力に感動し、私たちのような若い世代の方にもその魅力を広めたいという思いから「フラミンゴワッフル」を企画開発しました。

友達やカップルで楽しめるようにワッフルだけでなくパッケージもこだわりました。

見た目も可愛く、思わず笑顔がこぼれる商品に仕上がったと思います。

大切な人と一緒にハートを作って、思い出を作っていたら嬉しいです。

■アドベンチャーワールドと立命館大学との繋がり

立命館大学とは、大阪いばらきキャンパスにて毎年開催される「Asia Week 立命館でアジアとつながる国際交流フェスタ」に参画し、ともに地域の活性化に尽力してまいりました。2023年12月に包括連携協定を締結後、具体的な取り組みの一つとして、2024年度春学期より立命館大学政策科学部との連携科目として、ヴィジョン特殊講義『アドベンチャーワールドから学ぶD&I経営の本質』を開講しました。

立命館大学

1869年西園寺公望が創始した私塾「立命館」をその源流とし、前身となる「私立京都法政学校」は1900年に創設、2025年に学園創立125周年を迎えます。現在は、16学部21研究科、学生・院生数約3万5000人を擁する総合大学であり、「自由と清新」を建学の精神に、常に時代の先端たることを理念としています。

■立命館大学公式HP：<https://www.ritsumei.ac.jp/>

【アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」】 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs/>

アドベンチャーワールドは、「ここにスマイル 未来創造パーク」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという“小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

【SDGsについて】

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。





立命館大学



アドベンチャーワールド



ADVENTURE WORLD

温暖な紀伊半島の和歌山県白浜町にある陸、海、空の約120種 約1,600頭の動物が暮らす「ここにスマイル 未来創造パーク」をテーマに掲げたテーマパークです。人間（ひと）、動物、自然を通して、パークを訪れる一人ひとりが、前向きになるきっかけを創り、人生の未来へプラスの影響をもたらす存在でありたいと考えています。そして、笑顔あふれる明るい豊かな社会の実現に寄与し、いつまでも必要とされるパークを目指しています。また、ジャイアントパンダをはじめ、希少動物の繁殖に成功し、保護研究活動に努めています。

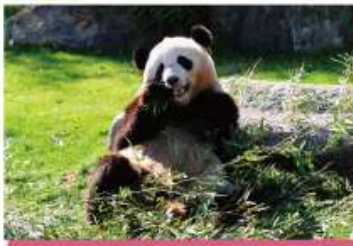
- | | | | |
|-------|--------------|------------|---|
| ■所在地 | : 和歌山県白浜町 | ■公式HP | : https://www.aws-s.com/ |
| ■面積 | : 80万平方メートル | ■X | : https://x.com/aws_official |
| ■オープン | : 1978年4月22日 | ■Facebook | : https://www.facebook.com/adventureworld_official |
| ■運営会社 | : 株式会社アワーズ | ■Instagram | : https://www.instagram.com/adventureworld_official/ |
| | | ■YouTube | : https://www.youtube.com/c/adventureworld_official |
| | | ■TikTok | : https://www.tiktok.com/@adventureworldofficial |

アドベンチャーワールド公式ムービー「いのちは、なぜ？」公開中 ▶ <https://youtu.be/7vJwqq21u7Q>



Giant Panda

ジャイアントパンダ



新たな出会いと感動の空間
パンダファミリーに感動の大接近



Marine World

マリンワールド



遠い昔から一緒だった
海からのやさしい贈り物に出会う



Safari World

サファリワールド



野生を感じる、自然からの
熱いメッセージに耳を傾ける、ひととき



Play Zone

プレイゾーン



型にこだわらない遊びがまっている